

みんなのうち

～記憶に残る思い出の施設へ～

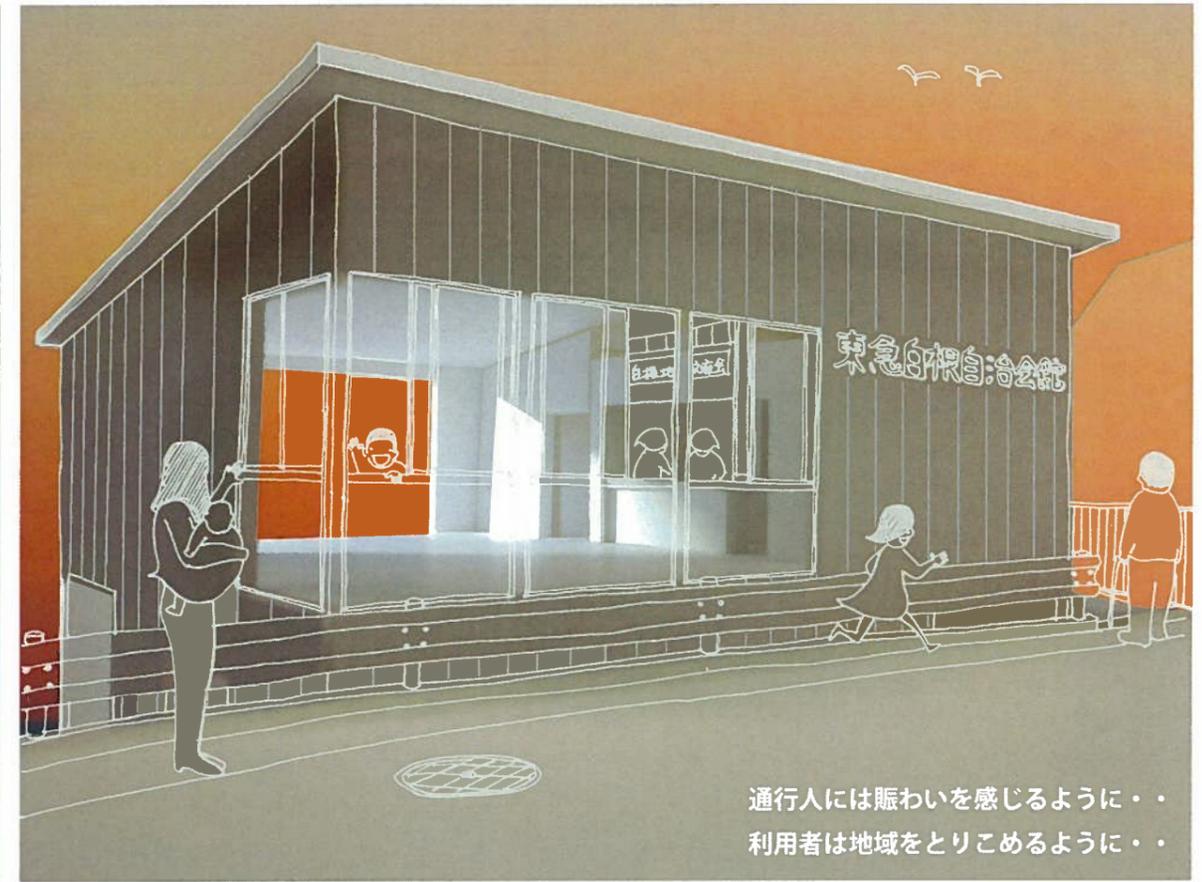
設計趣旨

幼児からお年寄りまでの集いの場となる為に、記憶に残る思い出のきっかけとなる為に、住民と共に生きる施設を創ることがこのプロジェクトの目的であると考えます。

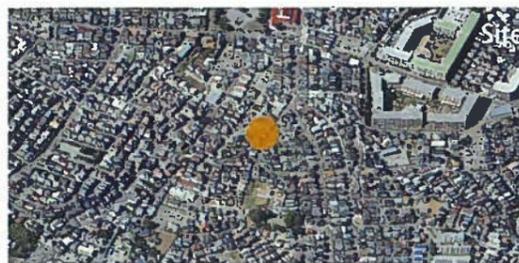
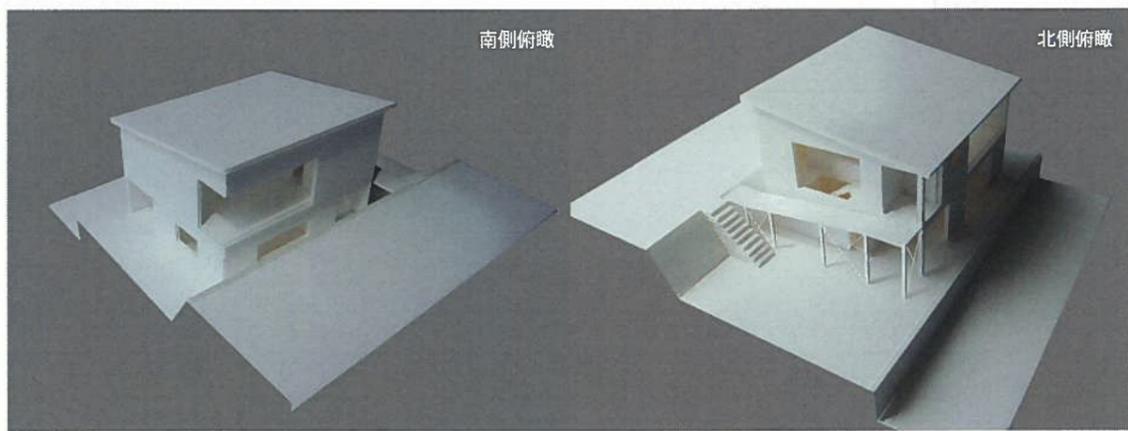
誰もが使いやすいように道路からメインホールへのスロープを設置。

災害時には一時避難場所としての機能に加え、非常時用の多目的ピロティを確保。

厨房とメインホールを一体利用することでコミュニケーションを生み出します。

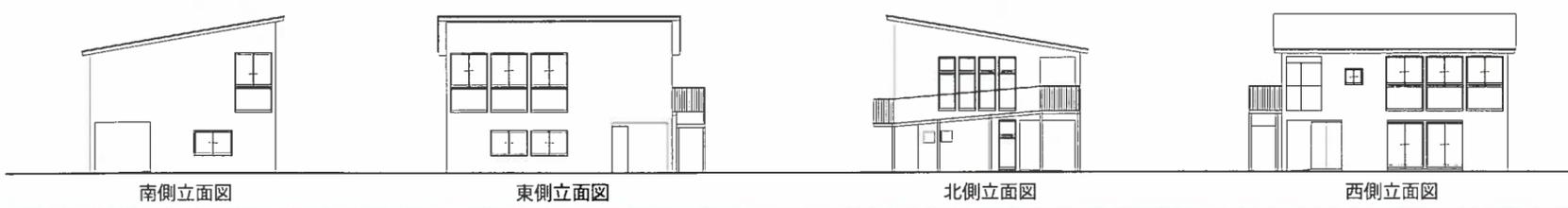
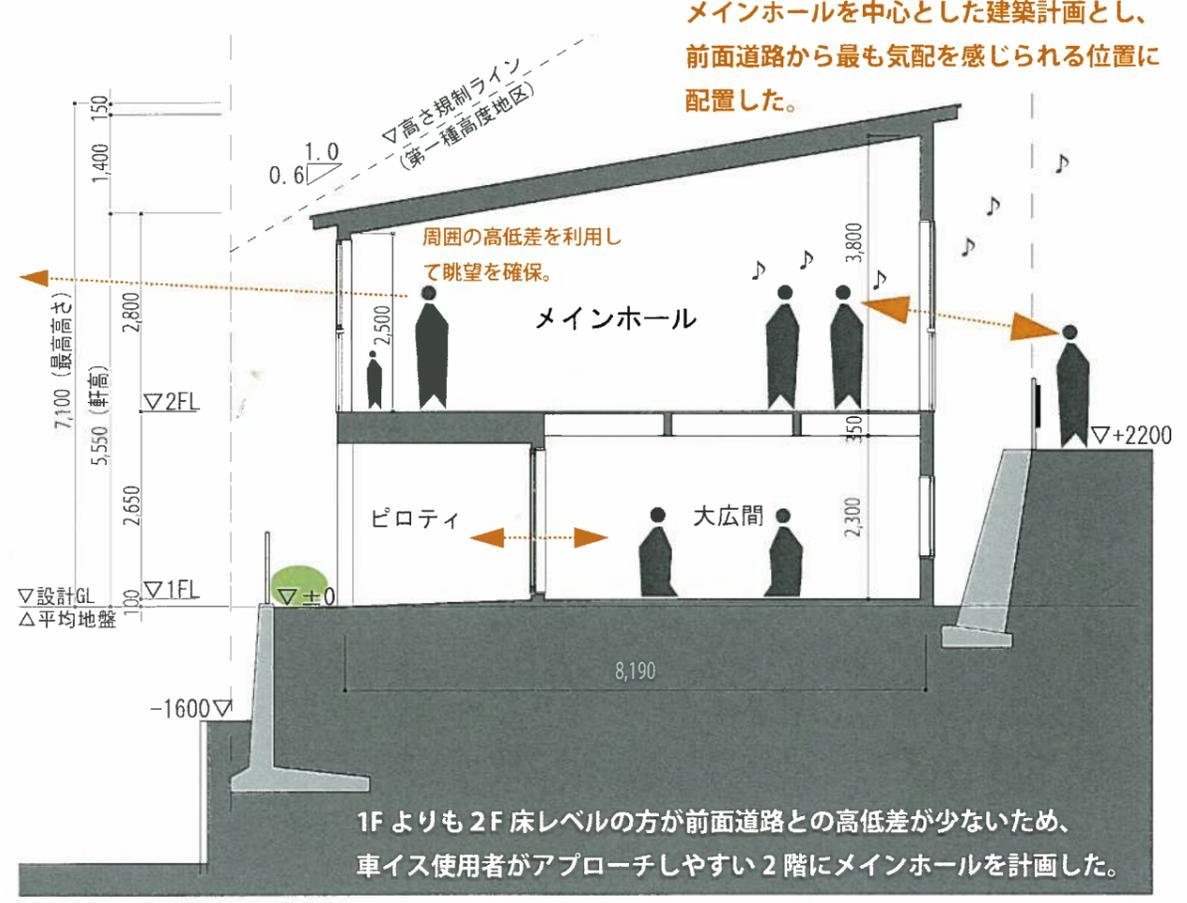


通行人には賑わいを感じるように・・・
利用者は地域をとりこめるように・・・

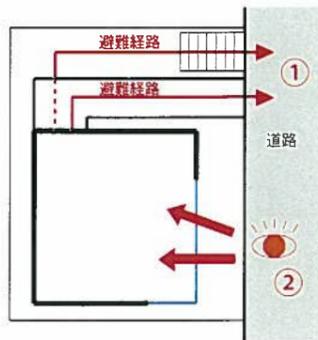


当敷地周辺には閑静な住宅街が広がり、子供から高齢者まで幅広い年齢層の人々が暮らしている。当敷地と前面道路との高低差は2m以上あり、2階にもエントランスを設けることが考えられる。

□Section S=1:100

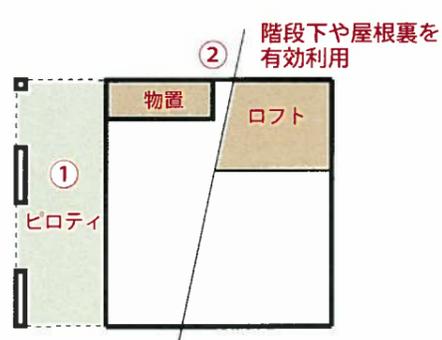


■安全で安心な施設



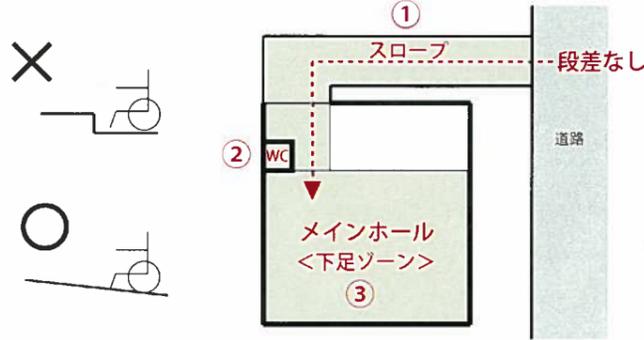
- ① 複数の避難経路を確保し安全な避難に配慮
- ② 外部からも見通しのよい計画とし、利用状況のわかりやすさに配慮

■防災拠点としての機能



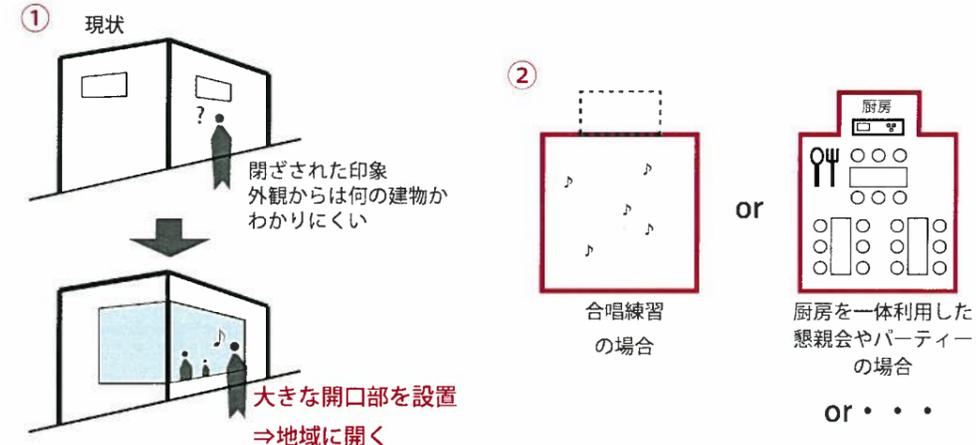
- ① 非常時には多目的に利用できるよう、ピロティを確保した計画
- ② 外部から使用できる物置と寝袋等を収納できるロフトを防災備蓄倉庫として計画
- ③ 厨房は災害時に炊き出しスペースとして利用可能

■ユニバーサルな仕様



- ① メインホールを2階に設置しスロープを設けることで、車イス使用者が気軽に利用できるよう配慮
- ② エントランスに近接してみんなのトイレを設置し、利用者が使いやすいよう配慮
- ③ メインホールは、下足利用とすることで靴を履き替えることなく、車イス使用者も一体となって利用できるよう配慮

■多機能かつ親しみある永く愛される施設



- ① 建物を道路に開けた計画とし、地域のシンボルとなり、親しみのある自治会館を計画
- ② メインホールは合唱の練習や、懇親会など様々な催しに対応できるよう計画

□Plan S=1:100

